

7.19の豪雨で崩落した町内の斜面



前兆を見逃さないで土砂災害を回避する

急斜面が崩れ落ちる災害

がけ崩れの前兆

- ▶ 斜面から水がわき出す
- ▶ 小石がバラバラと落下する
- ▶ 斜面がふくらむ
- ▶ 斜面に裂け目ができる

地層が滑り落ちる災害

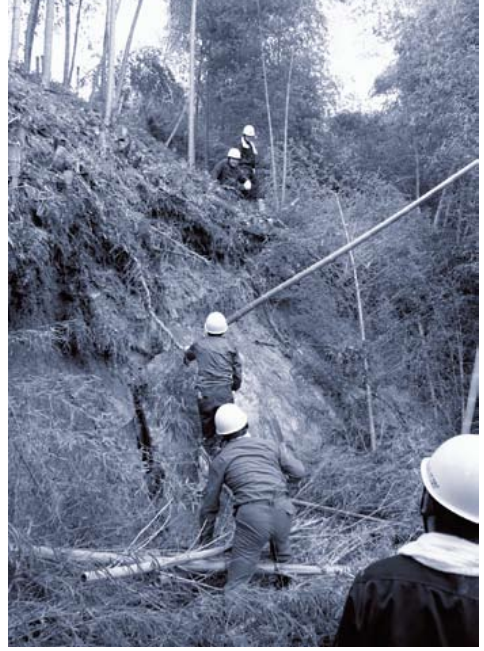
地滑りの前兆

- ▶ 急に水がわき出す
- ▶ 山腹に亀裂や段差が生じる
- ▶ 地鳴りがする
- ▶ 池や沼の水位が急変する

大量の水と土砂が流れる災害

土石流の前兆

- ▶ 渓流の水が急に減る
- ▶ 渓流内で石が転がる音がある
- ▶ 川の水が急激に濁る
- ▶ 木が流れてくる



【7.19 集中豪雨】15年7月18日の午後4時から翌19日午前8時までの降水量は町内で218ミリに達した。土砂崩れ81か所、家屋半壊5棟、床上床下浸水83棟の被害が町内で発生。九州を中心とした被害は死者23人、負傷者25人、家屋全半壊107棟、床上床下浸水は7千746棟に及んだ。飯塚市の嘉徳劇場も浸水した。

豪雨

想像よりはるかに速い水足

7・19 集中豪雨

忘れない。

平成15年7月19日の未明、ゲリラ的豪雨が九州各地をピンポイントで襲い、目を疑うほどの被害をもたらしました。例年7月、梅雨時期の終盤に大雨が降る傾向にあります。梅雨前線の停滞に警戒を。

第1章 災にしない教訓



THUNDER 高所に落ちて側撃する雷

梅雨時期、豪雨とともに注意したいのが雷です。雷鳴が聞こえたらすぐに建物内に避難を。車内も安全です。建物内では壁や柱、家電、水回りからは離れましょう。雷は金属やゴムなどの絶縁物に関係なく高所に落ちやすいため、屋外では姿勢を低くして雷雲の通過を待ちます。また、雷にば直撃雷」と落雷の周囲に伝わる「側撃雷」があります。特に木の下の避難は「側撃雷」の危険が大、落雷事故のトップがこのパターンです。

斜面付近は特に警戒

豪雨災害の恐ろしさは、雨に伴う土砂の崩壊にあります。豪雨で命を落とすケースのほとんどが土砂災害です。特に花崗岩地帯は風化を重ねて、もろいまま土となっています。この急傾斜に多量の雨が降ると、まさしく泥状化し、さらに保水力の限界を超えれば、土と固い岩盤とのすき間に水が流れ、岩盤の上を土砂が一気に滑り落ちます。「丈夫な岩盤なので崩れない」と考えるより、むしろ、岩盤は土砂を押し流す「滑り台の役割をする」と考えた方がいいでしょう。町内には花崗岩地帯が多いため、斜面崩落の危険性も高くなります。崩れやすくなった梅雨時期の斜面が、集中豪雨に

見舞われると大災害につながります。土砂災害には前兆がありますので、斜面付近に自宅がある場合、「危ないかな」と思ったらすぐに避難を。逆に浸水時の外出は危険が多く、水圧で車のドアも開かなくなり、もし腰まで水位がある場合は無理せず救援を待つてください。

特に、20mm以上の雨が1時間以上降り続けているとき、降り始めてから100mm以上の降雨量となったときは十分な警戒が必要です。さらに「過去数年間で最も土砂災害の危険性が高い」というキーワードや「記録的短時間大雨情報」が気象庁から発表されたときは、早めに避難してください。

警戒しなければならぬ災害です。例年7月、大気の状態が不安定になる梅雨時期の終盤に大雨が降る確率が高くなっています。この豪雨をもたらす積乱雲は短時間で急速に発達するため、その引き金となる梅雨前線の停滞に警戒しなければなりません。



近年、雨が局所集中型になったことで頻発する集中豪雨は、特にわたしたちが

排水機能の限界を超えた一帯では、さらに雨水で流されたモノが完全に排水溝をふさぎ、想像以上の早さで水位が上昇。1秒を超える浸水被害にあった人は、見る見るうちに水かさが増えたと証言しています。家屋を押しつぶすような土砂、根こそぎ流され折り返った大木、何度キーを回しても反応がない愛車のエンジン…。短時間の集中豪雨は、地滑りやがけ崩れ、浸水など、町内に未曾有の災害をもたらしました。



1時間の雨量	雨の降り方と予測状況
10～20mm やや強い雨	ザーザーと降る。地面からの跳ね返りで足元がぬれる。話し声が良く聞き取れない。地面一面に水たまりができる。
20～30mm 強い雨	どしゃ降り。傘をさしてもぬれる。寝ている人の半数が雨に気付く。ワイパーを速くしても見づらい。側溝や小川があふれ、小規模なげ崩れが始まる。
30～50mm 激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。道路が川のようなになる。ハイドロプランニング現象が起きる。がけ崩れが起きやすく、危険地帯では避難が必要。
7.19の雨量 50～80mm 非常に激しい雨	滝のように降る。傘は役に立たない。水しぶきで一面が白くなり、視界が悪くなる。車の運転は危険。土石流が起りやすし、多くの災害が発生する。
80mm～ 猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。大規模災害の発生について厳重な警戒が必要。

7.19の豪雨で濁ってしまった町内の路面